

会報

第38号

2013年2月発行

かいほう

The Friendship Force of Miyagi

発行者

会長 広瀬喜美子

〒980-0815
仙台市青葉区花壇
5-36-201
TEL:022-221-3904

ご挨拶

会長 広瀬喜美子



世界大会にて

私が会長を引き受けて早や3年の月日が流れました。その間何とか役目を果たせたのは会員の皆様のご協力と、東京の石井様や近隣クラブの方々のお陰と感謝しております。

昨年は広島における世界大会とオーストラリアからの被災学生招待等特別なことができました。特に学生招待の件では飯岡事務局長が大変力を尽くしてくださいました。また世界大会では余村様のお声がけによって多額の浄財を頂戴いたしました。3月の出発が楽しみです。

五月恒例の受け入れはEDや会員各位のご協力により楽しい活動となりました。本年度は台中が予定されています。また秋にはFF山形の芋煮会に4人で参加したのもいい思い出です。

今後ともよろしくお願い申し上げます

高校生のオーストラリアホームステイ支援プログラムについて

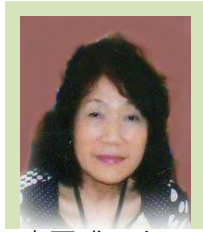
飯岡 智

震災で被災された子供たちを励ましたいとのプログラムが、郡山クラブの蓋康さんを通して連絡があったのは6月でした。被災された子供たち30名招待したいとの支援事業で、仙台と郡山から各15名の募集を行い進めていくことになり、公には仙台市教育委員会のホームページからリンクしてもらう方法と被災者を支援しているJETOみやぎとKIDSNOWの2団体を通して募集を開始しました。募集締め切りを8月30日に設定し、15名の希望者が出てきた段階でオーストラリアのサンシャインコーストクラブから募金が集まらず実現が難しいとの連絡があり、困った状況に陥りました。希望した子供たちに責任はないことなので、FFIのレガシーファンドからの拠出金や、広島世界大会でのRaffle募金などを通して、このプログラムを支援することの決議がなされ、実行に移されまし



面接・オリエンテーション

それでも費用が不足する状況で、どうか希望者全員を何とかしたいと思い、宮城地区のロータリークラブを通してオーストラリアのロータリー会員のBellさんを紹介いただき、結果として8名分の航空運賃の寄付を頂くことができました。



森房雅子さん

これで仙台、郡山の全員が付添いも含めて参加できるようになりました。仙台からはEDとして森房雅子さんの派遣がきました。

FF宮城には一切責任のないことでしたが、多くの方々が子供たちのために友情の輪を広げて下さいました。

出発は25年の3月23日から10日間の訪問になります。宮城からは12名、郡山から13名の計25名のアンバサダーとなります。海外旅行が初めての中・高校生が震災を乗り越えての新しい一歩になればと願っております。

FF宮城の会員の皆さまにご協力を頂き有難うございました。

受け入れを終えて

高松優子

何度か今までに後々気づいたのですがオーストラリア全域、そして日本に来るまで一度も会ったことのないメンバーでの来日だったのです。そのためグループ間の連絡、移動の手配などでは本当に力をかしていただく結果になりました。更に細やかな気配りが必要だとあらためて感じました。

御協力、本当にありがとうございました。



市長訪問



フェアウェルパーティ



着物着付

「山形芋煮会」に参加して

諏訪ナオミ



郡山クラブと交流

10月7日（日）FF山形主催、馬見ヶ崎河川での芋煮会の案内。いつも9月末、当地からのテレビ中継を毎年観ながら、一度は行って食べて見たいと思っていましたので、待ち望んで参加いたしました。絶好の行楽日和、皆、所用があり、結果的に広瀬会長、鶴戸さんと五嶋さんの4名が参加しました。郡山そして新潟からはバスで大勢の参加には驚きました。すぐに会員と話が弾み種々の大会で御一緒だった面々に再会でき、話が盛り上がり、あっという間に時間が過ぎ散会、又の再会を念じつつ・・・。

山形の皆さまの手厚いおもてなし、お手製の漬物、そして色とりどりのイタリアンサラダ。どれもおいしく、いろいろなお気づかいに感謝申し上げます。我が家の芋煮も、これを機に仙台方式から一変し、山形方式になりました。米沢牛のたくさん入った鍋は最高でした。

10月31日から11月3日まで、広島で世界大会が開催されました。370名という多くの参加者でしたが、私たちのクラブからは広瀬会長、佐藤副会長、森房さん、今井さん、高松さんと6名が参加しました。初日は飛行機の時間の関係で夜のカラオケパーティからの参加でしたが、以前受け入れのとき知り合った方々、派遣で知り合った方々や国内のクラブの方々とも久しぶりでお会いする機会を持つことができ、本当にうれしく思いました。



ガラパーティ

特に今回はオーストラリアホームステイ支援の為、会場の入り口にラッフルコーナーを設け多くのクラブからの品々がズラリと並んでおりました。後日のガラパーティで60万円の収益がありました。11月1日は「ヒロシマディ」ということで講演、被爆体験談、ワークショップ、灯籠流し、2日目は閉会式、オプションツアー、ガラパーティ。3日目はオプションツアーと本当に慌ただしく時間が過ぎました。

初めてこのような大きな大会に参加し、改めてフレンドシップの素晴らしさを実感してまいりました。



灯籠流し



千羽鶴



瀬戸内クルーズ

世界大会とホームステイ

今井 翠



女川の病院
(18mの津波の高さの線を背景に)

10月31日から11月2日まで広島の世界大会に宮城会員5名と出席しました。私は世界大会が初めてでしたが、各国の人と交流ができ、特に以前エクスチェンジで知り合った人々と再会を喜び合いました。しかし広島は世界初の被爆地で、悲惨な体験談や跡地を見、今の福島と重なり考えさせられました。

大会後、我が家にドイツのシーリー夫妻が滞在しました。真っ先に被災地女川と石巻に案内しましたが、現実の酷さに声を失いました。帰国後、人々に体験を話すことでしょう。それから平泉や船岡の菊人形などへお連れし喜んで頂きました。

いろいろな意味で世界大会は有意義でした。

12月2日札幌で行われ、広瀬会長と参加した。新潟、太田群馬、山形、郡山も参加し、各県の現状を小グループで討議して大変良かった。

新潟は以前は市から年間50万円支給され、今は15万円で、アンバサダー滞在中は毎日、市の



北日本ブロック会議

バスを運転手つきで、貸切で利用できるそうで、郡山も15万円が市から補助が出るそうです。各クラブは会員集めに、英会話、音楽、料理など、いろいろなイベントをもうけて努力しているようです。

<2012年 事業報告>

- 2月16日 総会・新年会
於リッチフィールド仙台 24名参加
- 5月19日 オーストラリア
セントラルコースト 8名受入
- 5月21日 ウェルカムパーティ
於リッチフィールド仙台 34名参加
- 8月2日 ビアパーティ
於まつぶちガーデンパレス
- 10月7日 「山形芋煮会」4名参加
- 10月31日～11月2日 世界大会
広島 6名参加
- 11月2日～ドイツよりホームステイ受け入れ
- 12月2日 北日本ブロック会議
札幌 2名参加
- 12月8日 忘年会
於ル・シャンピニオン
世界大会 札幌北日本大会報告
- 役員会 年6回開催 会報発行

<2013年 事業計画>

- 2月21日 2013年総会・新年会
- 3月1日 FF創立記念日
- 3月～4月オーストラリア
ホームステイ支援プログラム
- 5月 台中受入れ
- 7月 ビアパーティ
- 10月19～20日 日本大会 鳥取
- 11月22～25日 世界大会
ニューオーリンズ
- 12月 忘年会
- 役員会 年6回 会報発行

(新会員紹介)

森田久美子、舟生俊夫、中村悦義、大沼敏夫
(敬称略)

(編集後記)

今年もまた会報発行の季節となりました。今年度の大きなイベントは被災児招待や広島の世界大会がありました。

編集方針として、多くの写真で皆さんにお伝えしたいと思います。